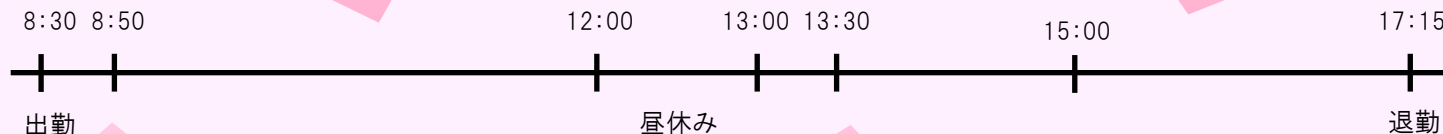


助産師



看護部(E棟3階)
助産師
令和5年4月採用

ある1日のスケジュール



検温ラウンド
ブリーフィングが終わると二人一組で一緒に受持ち患者さん(10人程度)の検温やケアにまわります。ナースコールなどで別々に行動した時は情報交換し、受持ち患者さんについてお互いに把握し合います。



分娩直接介助

陣痛発来した産婦さんが入院されたので、分娩担当助産師として分娩期がスムーズに経過するようにケアし分娩介助にあたりました。出産を終え、元気な赤ちゃんとお両親の笑顔を見るとほっとします。



勤務開始時ブリーフィング

毎朝 8 時 50 分～5 分程度、勤務の医師・看護師・助産師・看護助手・病棟クラークが全員集まり、分娩期の妊婦さんや重症患者、転倒リスクがある患者さんなどの情報共有をしています。



妊婦合同カンファレンス

毎週火曜日13時30分から合同カンファレンスをしています。

今回は、もうすぐ入院予定の私の受持ち妊婦さんについて助産外来助産師、病棟看護師・助産師、周産母子センター看護師、臨床心理士と話し、入院中の育児支援方法について方針を決定しました。



リフレッシュ

夕方の分娩で看護記録や処理に時間がかかり、少し残業となりましたが、退勤後は同期の助産師と近くにご飯を食べに行きました。休日は友人とカフェ巡りや旅行に行くなど充実した時間を過ごし、リフレッシュしています。



現在担当している業務について教えてください

配属後すぐに分娩トレーニングを受け、1年目の6月以降は分娩直接介助を任されています。母乳育児支援ワーキンググループにも参加し、母乳率が上がるように業務改善に取り組んでいます。

また、今年度よりマタニティクラスの講師を務め、集団保健指導を展開しています。

仕事をするうえで心がけていることを教えてください

対象者の方の**安全**を第一に考えて看護・助産にあたっています！チームで医療・看護を提供するため、先輩看護師・助産師だけでなく、医師や管理栄養士など他職種とコミュニケーションを図ることも大切にしています。

高知大学医学部附属病院の助産師として働く魅力を教えてください

周産期に関するだけでなく、女性特有の疾患や治療、看護を学ぶことができます。助産師として、分娩期だけではなく、女性の一生に寄り添うことができるのも魅力に感じています。

様々な背景をもつ妊産褥婦さんが受診されるため、周産期を通して、地域との関わりの重要性も学ぶことができます。また、医師や薬剤師、ソーシャルワーカーなど、他部門・他職種の方にも相談しやすく、患者さんにとってよりよいケアについて一緒に考えることができます。

目標とする将来像を教えてください

対象者の方一人一人に寄り添い、あたたかみのある看護・助産を提供できる助産師になりたいと思っています。



コロナ禍以降、久しぶりに産科婦人科医局主催のBBQ会が開催され、医師や看護師、助産師、医学部学生のなど多くの方と親睦を深めることができました。

部署からのメッセージ

20・30歳代を中心として幅広い年代の看護師・助産師が働いています。子育て中も様々な制度を活用し、継続して働いているスタッフが多く、助け合いながら仕事をしています。また、NCPRや母乳育児支援研修など多くの研修や学会に積極的に参加し、自己のキャリアアップに努めています。いつかみなさんとお会いできる日を楽しみにしています！！